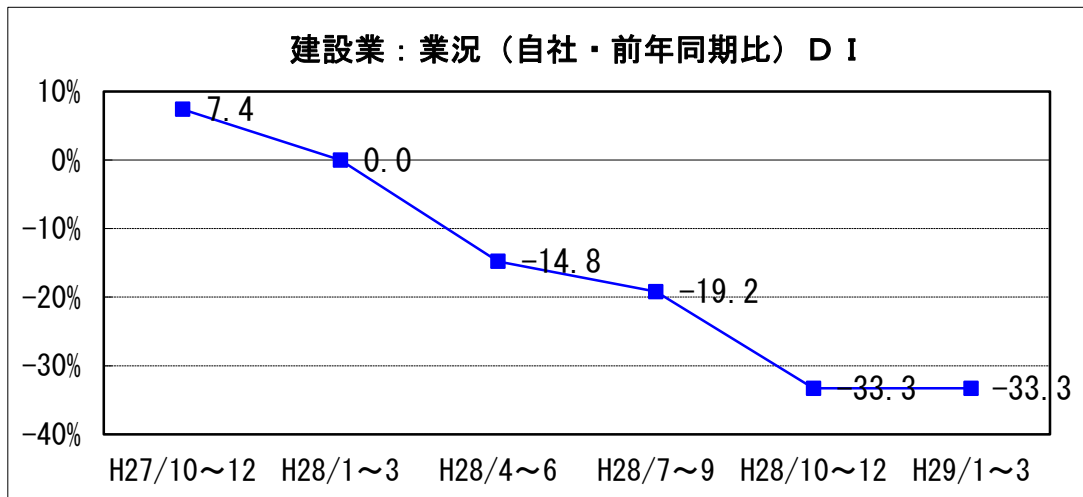


### 3. 建設業の動向

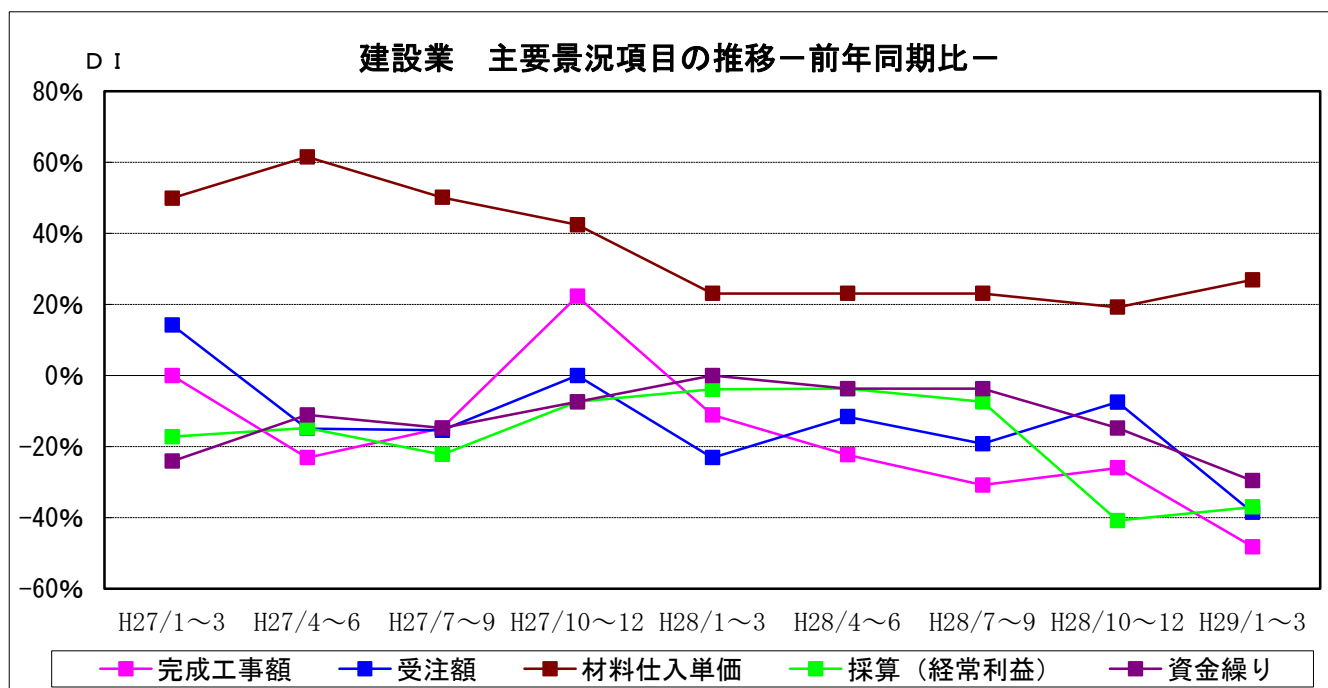
#### (1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は▲33.3。前期の▲33.3から0.0ポイントと横ばいとなった。来期見通しは、▲23.1と上昇の見込み。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

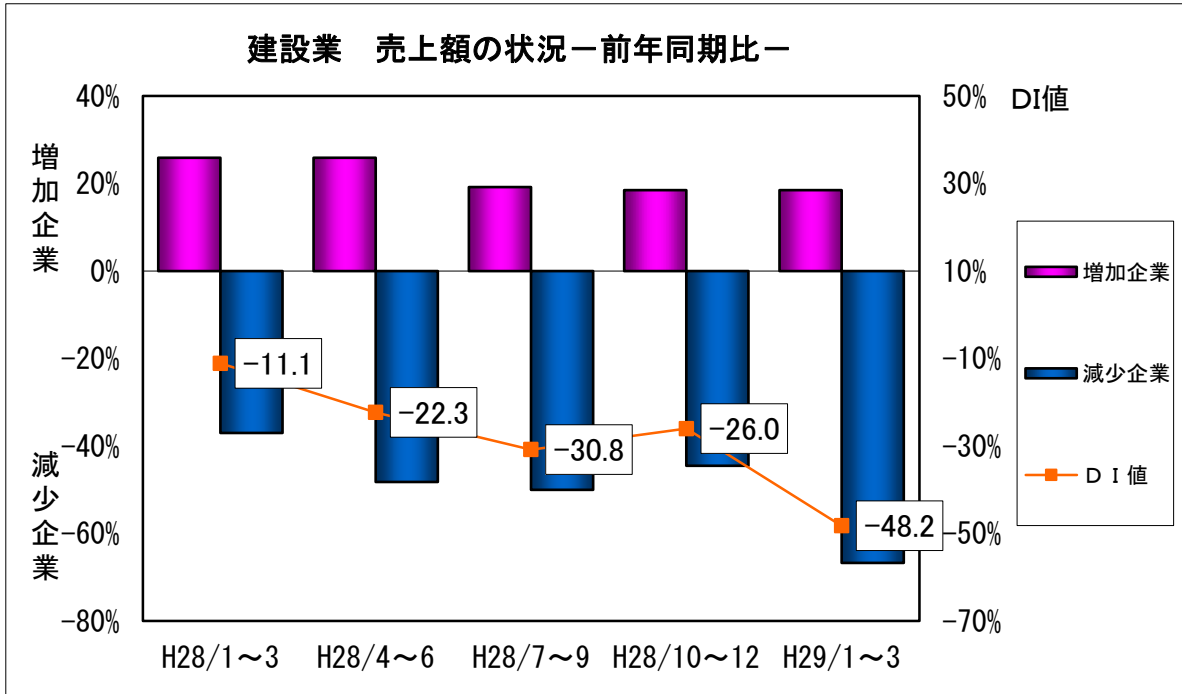
	前々期 (28年7月~9月)	前期(A) (28年10月~12月)	今期(B) (29年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	▲30.8	▲26.0	▲48.2	▲22.2	▲15.4
受注額	▲19.2	▲7.5	▲38.5	▲31.0	▲24.0
材料仕入単価	23.1	19.2	26.9	7.7	8.0
採算(経常利益)	▲7.4	▲40.2	▲37.0	3.8	▲27.0
資金繰り	▲3.7	▲14.8	▲29.6	▲14.8	▲19.3



(2) 主要項目の概況（前年同期比）

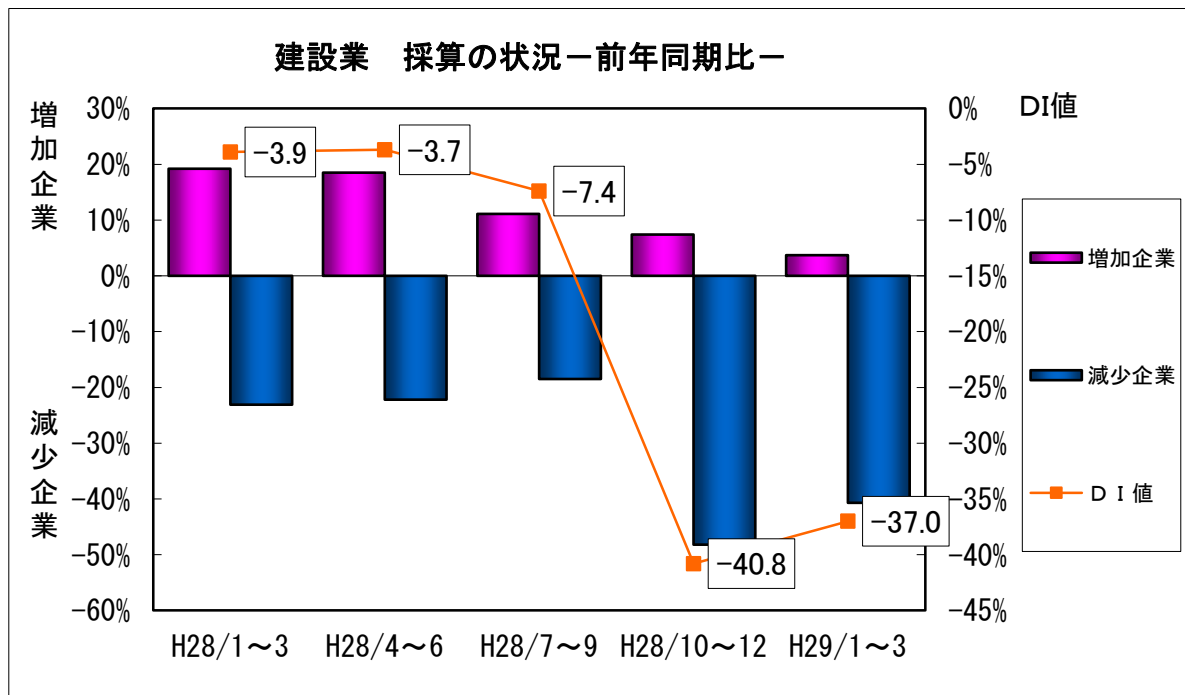
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額D I値は▲48.2。前期の▲26.0から▲22.2ポイント大幅下降となっている。来期見通しは▲15.4と上昇の見込み。



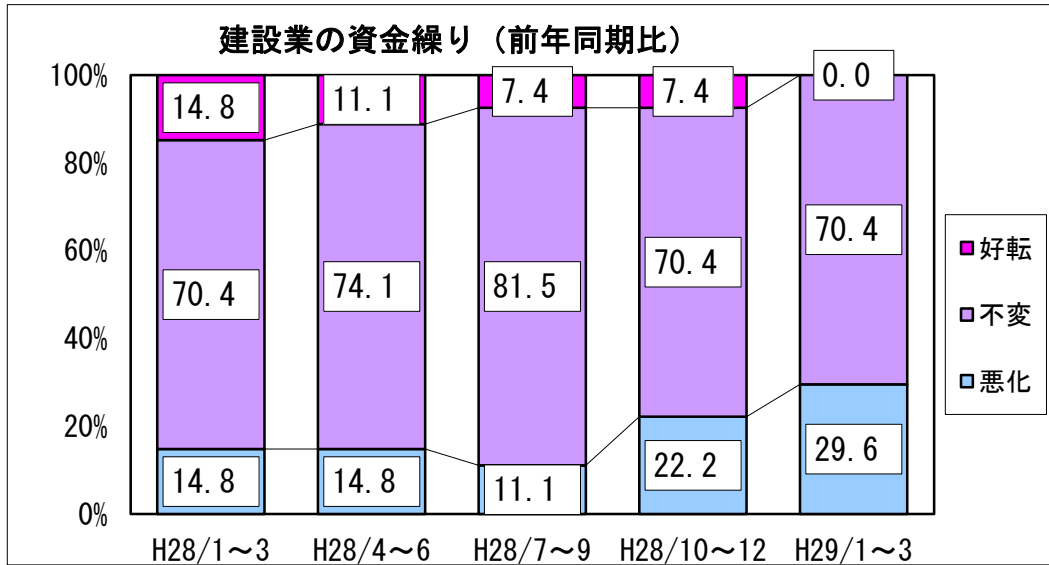
②採算（前年同期比）

今期の採算D I値は、▲37.0。前期の▲40.8から3.8ポイント上昇した。来期見通しは、▲27.0と上昇する見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は▲29.6。前期の▲14.8から▲14.8ポイント下降した。来期見通しは、▲19.3と上昇に転じる見込み。

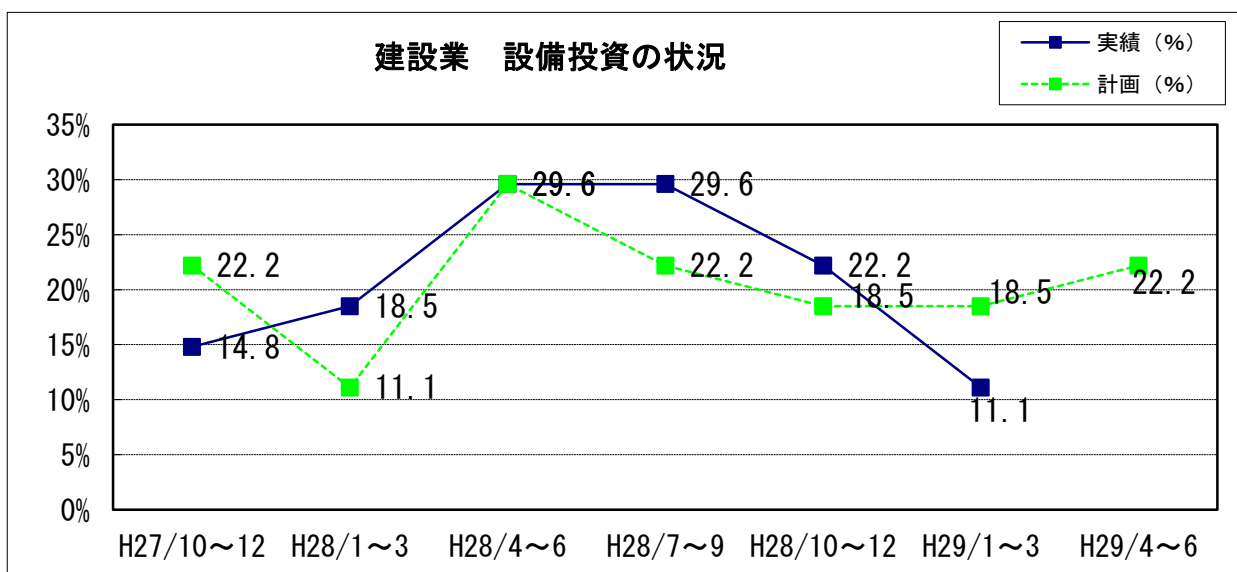


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	6	2	0	0	4	1	1	1	0	21
(%)	22.2	33.3	0.0	0.0	66.7	16.7	16.7	16.7	0.0	77.8
今期実施 (実数)	3	1	0	2	2	0	0	0	0	24
(%)	11.1	33.3	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9
来期計画 (実数)	6	0	1	2	2	2	1	1	2	21
(%)	22.2	0.0	16.7	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	33.3	77.8

今期設備投資を実施した企業は3社（11.1%）。前期（平成28年10～12月期）の実施企業6社（22.2%）より減少。来期は6社（22.2%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「従業員の確保難」 (前期 37.5%→今期 34.8%)
- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 33.3%→今期 34.8%)
- ・ 「熟練技術者の確保難」 (前期 25.0%→今期 26.1%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 12.5%→今期 21.7%)
- ・ 「取引条件の悪化」 (前期 8.3%→今期 21.7%)
- ・ 「下請業者の確保難」 (前期 16.7%→今期 21.7%)

となっている。

